



伐<sup>つて</sup>、植<sup>えて</sup>、育<sup>てた</sup>。

50年  
のあゆみ

# 掛川市森林組合設立50年に寄せて

掛川市森林組合

## 50年の歴史と今後の展望

掛川市森林組合 代表理事組合長

榛村純一



昭和38年～平成25年 代表理事組合長

焼野原から復興する大量の木材需要が起こり、木材超インフレを引き起こしました。この木材需要を解決し、日本経済の高度成長に対処するため、外材輸入が開始されたのが15年後の昭和35年です。その3年後の昭和38年、原泉・原田・桜木・西郷・倉真の5つの森林組合が合併して、掛川市森林組合が誕生しました。

### 2 経営体制と人のつながりの継続を大切に

組合員、常勤理事、職員、作業班という経営体制と人材養成は、設立より50年間何とか継続されてきました。組合長が昭和43年より県森連専務、昭和52年から掛川市長、さらに平成5年から県森連会長を勤めたため、長く非常勤の組合長となりました。その間、多くの方々がそれぞれの立場で頑張つて、森林組合を支えてくれました。特に大嶽明忠氏は参事7年・専務を25年務め、林業構造改善事業の継続実施や、増資・特別出資、買取林産、4大卒の若手職員養成などを強力にすすめ、森林組合の経営基盤の強化に貢献しました。いろいろな人が活躍した50年の掛川

### 1 設立前史―木材インフレから5組合合併まで

掛川市森林組合成立の前史は、第2次世界大戦末期まで遡ります。その頃、軍部は本土決戦を覚悟し、「日本の鉄は木材だ」と叫んで、陣地資材調達のため強制伐採を行っていました。憲兵が周つて来て裏山の木を伐れと言つたのを思い出します。そして1945年(昭和20年)8月敗戦、う森林整備でした。

### 5 森の都なりのいいところ地域づくり

森林組合は、森林保健休養事業を通じて地域づくりに取り組むべきと考えましたので、キャンプ場、森の都「なごころ」の整備に力を入れました。整備の始まりは、森林組合の林構事業で、ヤマメの養殖を始め、原泉地区3000haを市と共に第3セクターを設立、その計画案をまとめました。その後、温泉開発も行われ、なごころは地域活性化や自然教育の普及市民の保健休養に大きく貢献しています。清い川の流れは一つの文化です。森林組合の存在価値は、ならこの経営に回帰するのが一つの方向性といえると思います。

### 6 国・県・市の公共事業やまちづくり事業を補完する

昭和54年、生涯学習都市宣言をした掛川市は新幹線駅設置を中心にまちづくりを積極的にすすめる、街路樹1万5千本の植栽、混植並木の推進、万緑化号(緑化専用公用車)を整備するなど「緑化は絶対善」というスロガンのもと、公園など緑の整備を進めました。また、森林組合は緑化木・緑化資材を扱うグリーンライフの経営等を通じて、都市緑化の一端

市森林組合史は、山を愛する人達のつながりの歴史です。

### 3 公共治山と林道開設のすすめ

森林組合が地域に貢献する第一のことは、治山・堰堤の整備と林道開設のすすめです。掛川市内の公共治山事業は50年間で累計507件65億円にもなりました。また、林道は谷ごとに行き止まりになっていたのが、路網が充実するよう峠をつなげる嶺越林道を優先的に計画し、丹間線、松葉千石線、大尾線、谷六居尻線、樽ヶ谷線、金谷森線、小笠山縦貫道など、33路線、100kmが整備されました。こうして山間地の道路網が構築され、交通と防災体制が整ったのです。それらのうち、40kmが後に市道に格上げされています。

### 4 素材生産と森林整備の推移

森林組合設立時から20年ほどは木材需要が旺盛で、素材生産が盛んに行われていました。昭和40年には森林組合系統で原木出荷が県下1位となり知事表彰を受けました。ま



に拍車をかけました。

最近、木材利用促進法や地元活用施策により、国産無垢材の魅力が見直されつつありますので、今後はこうした動きが活発になることにPR努力したいと思います。

### 10 これからの課題と展望

現在の森林組合事務所は、老朽化激しく、組合員は立ち寄りにくく、駐車にも不安が大きいため、組合員、役員、作業班それぞれが利用しやすい事務所を整備が必要と思われる。整備の際は、森林情報センター・木材集積土場機能の付加についても検討が必要となります。

諸事業については、ますます充実をはかるよう、低コスト林業の実施、地籍調査事業の加速、集約化事業の拡大、林地売買斡旋事業への取り組みが必要。また、事業実施の上では役職員の養成・確保が大切になっていきます。

これからの50年に向けて、経営基盤を整え、組合員との信頼関係を大切にし、掛川の山の循環型森林経営を樹立していく責務を強く感じます。

### 11 おわりに

森林観察と緑化事業は絶対善です。そして林業の性格は①広い②清い③長い④市場経済に弱い、そして⑤高い所にあり、志の高い仕事です。誇り高くありたいと思います。

### 9 反省 木材の値段が国際価格並みになった

50年間を振り返って反省することは、「国産材時代来たる」を心の支えとしてきましたが、そうならなかったことです。安い外材輸入の影響で、杉松の蓄積は増えましたが、材価は低落の一途をたどりました。また、建築工法や住宅ニーズの変化による、木材工業化(合板・集成材・プレカット・乾燥材)も、国産材の需要の減少

### 8 森林組合とは何か

「組合員への奉仕」と「組合の安定経営」の矛盾とバランスは、森林組合の困難な課題です。農協や漁協は農業、漁業ですが、森林組合は林業組合とは言いません。経営と所有の分離など、「森林組合とは何か」は、50年間問い続けてきたことです。そして、今後も続いていく命題でしょう。

また、これからは全森連と県森連、他の単位森林組合(全国650、静岡県20組合)との関係や静岡県林業会議所、静岡県山協、各木材協同組合など他の林業団体との関係づくりがより重要になってくると思われます。



# 先達からのメッセージ

「かけがわの森」を支え、次世代へ引き継いでくれた方々から当時の思い出を語っていただきました。

## 天野幸雄さん

昭和47年～平成21年 38年間勤務



昔、山仕事の道具は斧と鋸ですべて手仕事でした。昭和35年ころ、初めてチェーンソーが出てきて、ファルコンとかライトニングという機種を使いました。その頃のチェーンソーは重かった。最近はどうも軽い機械になっていきましたね。

私は掛川市森林組合が誕生する以前から、山仕事をしています。県森連の仕事で熱海の市有林で伐り出しを4年やって、掛川に帰ってきて昭和39年頃から森林組合と関わりが始めました。素材生産が盛んなときは、市内に限らず笹間、本坂峠、観音山など県内あちこちに出かけました。もちろん市内の山もくまなく歩き、どこにどんな木が生えているかをほとんど把握しました。利益を出す為に朝早くから夜遅くまでよく働きました。素材生産が減ってきた後は、市の区画整理事業、JHの第二東名事業、中電の送電線事業に、ほとんど携わらせていただきました。

森林組合50年の歴史の中では、いくつかの大きな労災事故がありました。事故をなくす為、また作業の能率を上げる為には、とにかくしっかりした技術を習得することが大切です。これからも徹底的に技術を磨いていってください。

私は山仕事が好きでしたが、山も私のことが大好きでした。長く続けていくと相思相愛になりますよ(笑)。

## 原れんさん

昭和50年～平成17年 30年間勤務



丹間の森林組合事務所の敷地には元々、原泉村役場と原泉農協が並んで建っていました。村長と助役がいて、量が敷いてあって、こたつがあって、お茶を飲んでいる...そんな風景を思い出します。

皆さんにかわいがっていただいたおかげで、30年近く勤めることができました。私は毎日、自転車で組合事務所へ通っていました。主に事務を担当していましたが、昔は電卓もパソコンも無いですから、書類はすべて手書きで、計算はソロバンでした。伝票を起こすのに間違いないように、とても気を遣っていました。今でも電卓ではなくソロバンを使っていますよ(笑)。

これからも明るい森林組合事務所の雰囲気を作っていくってくださいます。

## 中山忠一さん

昭和44年～平成15年 33年間勤務



昔は現場で作業する人が大勢いて、昼の休憩時間には、山で火を焚いてお茶を沸かし、魚や鳥を焼いて食べた、そんな風景がとても懐かしいです。旅行の時には大型バスを2台貸し切って行きましたよ。

私は就職した当時、主に重機のオペレーターとして、林道や作業道の開設をしていました。油圧ショベルは無かったので、昭和44年、48年に導入した6tと12tのブルドーザーを使っていました。当時から高密路網を推進していて、組合員の山や国有林で、居尻の戸塚さん達とたくさんの道をつけました。

これからは、私たちがつけた道を活用して、さらに路網を整備しながら、山の利活用を進めていってほしいです。ただ、道が山の崩壊の始まりにならないよう道路の設計、施工には十分に気をつけて進めてください。

## 川本武雄さん

昭和49年～平成21年 35年間勤務



昭和58年、観音山の国有林で160年生のスギ、ヒノキを伐り出しました。チルホールやクサビを駆使して木をすべてホンヤマに倒しました(斜面上方に倒しました)。山の真ん中ごろにあったスギは樹高42mで直径1m以上。24mmのワイヤーを張っての出材でした。あの風景は忘れられません。

私は労務班員として、あちこちの山で作業をしました。観音山は居尻の小林高德さん、佐藤祥さん、萩間の丸山義信さん、平出小市さんたちと通いました。トラック運搬は寺田幸三さんでした。労務班は今と違って、班ごとに森林組合の仕事をお願いされていて、須和部義雄さん、杉山連平さん、原惟司さん達が班長で活躍していました。儲けが出たときは班員皆で分けました。

最近では、地元や組合員の山への関心が薄れていっています。森林組合には山の大切さ、山の良さを絶えずPRして欲しいです。森林組合が活気づけば、地元も活気づきます。あと、怪我だけは気をつけてください。

# 勤続44年をふりかえる

掛川市森林組合 代表理事専務 大嶽明忠



昭和45年 奉職  
昭和58年～平成2年 参事  
平成2年～平成25年 代表理事専務 勤続44年

## 森林組合への奉職当時

掛川市森林組合に奉職したのは昭和45年、森林組合設立の7年後です。私は大尾山頭光寺の38代目住職ですが、お寺の仕事をしていた折に榛村組合長から電話を受けまして、「組合の職員が足りず困っている」とのことだったので、2ヶ月お手伝いするつもりで森林組合に入りました。それがいつしか44年になってしまいました。

私が入った頃の森林組合は累積赤字が200万円あり、かつ多くの不良債権を抱えていました。年末に、職員・労務班の給料・賞与に支払うお金がなく、草賀文雄専務と静岡の農林中央金庫に1週間通い、やっと1200万円借りたことを思い出します。資金繰りの改善、累積赤字の解消が最初の仕事でした。

## 様々な事業を展開し 経営基盤を強化

組合員の為にも、森林組合の経営の安定がなにより重要と考え、赤字を解消して経営を軌道にのせる為、様々な事業に取り組みました。ひとつは、立木の買い取りによる林産事業です。市内はもとより県内あちこちの山で立木を買って伐り出し、三重、愛知、滋賀、吉野等の市場へ出荷しました。また材木のプロと成る為の努力をしました。社寺の古木・名木の競売や、国有林の入札にも参加し、観音山の160年生杉・松の山を6800万円で落札しました。今にして思えば度胸が良かったと思います。

また、国の林業構造改善事業にも継続的に取り組まれました。おかげで倉庫やブルドーザーなどの機材・資材など、設備を整えることができました。またこの事業を林道の整備や、キャンプ場などの立ち上げにも活用しました。



当時は植栽も盛んで、市内で1年間に40〜50万本のスギ・ヒノキが植えられました。春に苗木を配布す



るため奔走したことも印象深い思い出です。様々な事業に積極的に取り組んでい

## 森林・緑の公益性が見直されて

昭和の終わり頃から材価は低落し、林産事業の継続が難しくなりました。その頃、事業の確保に悩み、「森林や緑の公益性機能が評価されて、それが仕事につながるのには10年先? 20年先? : それまで頑張らない」と、組合長と2人で話したことを覚えています。それから10余年、今は森林の環境的価値が見直され、森林所有者の負担なく公共事業として間伐ができるようになりました。これまでもありがたいことです。

## 林業の後継者

材価の低落と共に、林業後継者は減少の一途をたどりましたが、当組合ではそういう厳しい時代だからこそ、新しい価値観を持った後継者を養成しようと、4大卒若手職員を採用を進めました。設立50年と言う節目の今、幾人かの若手職員が育つて

きましたが、このことは森の力再生事業、地籍調査事業などの公共的な森林施策とあいまって、森林組合に新しい潮流を生み出しています。この流れが滞りなく続いていけば、彼らが林業後継者として立派に育っていくに違いありません。これからの彼らの働きに期待したいと思います。

## おわりに

組合長が非常勤であった為、私が常勤理事を長く勤めさせていただきましたが、その間、組合員の皆様をはじめ、行政機関の皆様、取引先の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。とりわけ、何も知らない私に、経理の基本をご教授下さり、組合の諸帳簿の基礎を作った下さった県森連から出向された鈴木増雄氏、木材のこと、流通のこと等々大変お世話になった鈴鹿木材の森和正氏、この二方には特に感謝を申し上げます。

また今後とも森林組合に対し御指導、御鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



# I. 森林組合創成期

Initial stage

原泉・原田・桜木・西郷・倉真、5つの森林組合が合併し、  
掛川市森林組合が誕生しました。  
時代は戦後の復興期、所得倍増計画が始まって3年目。  
高度経済成長で、木材需要が旺盛。  
多くの人が山で働いていました。

## 1963 → 1972

昭和38年～47年



昔の写真からは、  
当時のおちからか活発な雰囲気と、  
ゆったりとした時間の流れが伝わってきます。

1972	1971	1970	1969	1968	1967	1966	1965	1964	1963	西暦(年)
47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	昭和(年)
<p>天野幸雄 職員採用 出資金 907万1千円 第一次林業構造改善追加事業 (S47~49)3,800万円 集材機トラック導入 大尾山林道着工 簡易林道1号</p>	<p>鈴木増雄参事 森連帰任 出資金 803万5千円 追加林構計画作成 高密度路網計画策定</p>	<p>大嶽明忠 採用 榎村組合長 ソ連共産圏林業視察 出資金 806万7千円</p>	<p>佐藤績 専務退任 鈴木増雄参事 森連より兼任 草賀文雄 専務就任 中山忠一 採用 山浦一郎・平出新太郎・小林勝 杉本九郎郎・平出貞子 退職 出資金 827万円</p>	<p>榎村組合長 県森連専務就任 出資金 710万6千円 林構ブルドーザ導入 路網整備に着手</p>	<p>特別出資金 賦課金依頼 吉川大二郎・山崎健太郎 中山蔵・小嶋和四郎・榎村純一 第一次林業構造改善事業 (S42~44)8,870万円 丹間の事務所・倉庫落成 榎村芳郎・原さかゑ 退職</p>	<p>草賀文雄常務林構計画立案 出資金 540万9千円 林業構造改善事業実施計画作成 林道6路線概測</p>	<p>小笠山国有林落札 2,756㎡ 出資金 506万6千円</p>	<p>出資金 306万3千円 天野房次 採用</p>	<p>合併設立登記完了(3月29日) 合併時の組合長 中山吉平 初代専務 佐藤績 出資金 255万6千円 9月30日 組合長 榎村純一に</p>	<p>掛川市森林組合 総務</p>
<p>素材生産 4,650㎡ 苗木 148,000本 足場丸太 4,260㎡ 県外の市場への出荷を開始</p>	<p>素材生産 4,099㎡ 苗木 178,000本 足場丸太 3,338㎡ 買取林産開始</p>	<p>素材生産 3,704㎡ 苗木 515,000本 植栽本数ピーク バルブ・チップ材 221㎡ 足場丸太 2,333㎡ 萩黒線竣工式</p>	<p>素材生産 3,258㎡ 苗木 434,000本 バルブ・チップ材 651㎡ 足場丸太 3,615㎡</p>	<p>素材生産 4,014㎡ 苗木 422,540本 バルブ・チップ材 659㎡ 椎首原木 200t</p>	<p>素材生産 2,512㎡ 苗木 273,998本 足場丸太 6,101㎡ バルブ・チップ材 661㎡</p>	<p>素材生産 2,598㎡ 苗木 256,313本 バルブ・チップ材 361㎡</p>	<p>素材生産 5,011㎡ 苗木 413,845本 バルブ・チップ材 1,066㎡ 森組系統 出荷額県下1位 県知事表彰</p>	<p>素材生産 2,943㎡ 苗木 40,280本 バルブ・チップ材 1,008㎡</p>	<p>素材生産 1,300㎡ 苗木 369,000本 バルブ・チップ材 528㎡ 足場丸太 15,800㎡</p>	<p>掛川市森林組合 事業</p>
<p>木材自給率41.3% 木材高騰 静岡県イントネシア株式会社設立 木材の良さを普及する500円運動 第5回森林組合大会 於 静岡</p>	<p>第4回森林組合大会 於 伊東 林業労働力5カ年間で半減</p>	<p>木材自給率45% 10月 林業講習所落成 第3回森林組合大会 於 川根 (竹山知事、内地林業益裁論) (社)林業会議所設立</p>	<p>4月より県林務部廃止農林水産部となる 第2回森林組合大会 於 龍山 榎村組合長 東南アジア椎首市場視察 外材比率51%</p>	<p>第1回森林組合大会 於 静岡 市道黒保線(宮林署併用林道) 全五橋梁架替完了 椎首不良種駒発生</p>	<p>木材自給率61.4% 県知事 竹山祐太郎氏初当選 県森連天竜共販所事務所落成 労務共済制度始まる</p>	<p>国有林 黒い霧で払い下げ中止 外材輸入 2,245万㎡ 2,464億円</p>	<p>オールスタッフ外材工場落成 掛川宮林署 新庁舎落成 初の「林業白書」発表 外材輸入 1,719万㎡ 1,788億円 中目材 スキ 14,800円 ヒノキ 17,300円</p>	<p>木材自給率72.9% 林業基本法制定</p>	<p>榎村純一・吉川大二郎氏ら 欧米林業界視察12カ国48日間 外材輸入1,398万㎡(比率11.1%)</p>	<p>森林・林業界</p>
<p>国連環境会議 沖縄復帰 田中内閣成立(別島改造論) 浅間山荘事件 唄「こにもこまらぬい</p>	<p>環境庁発足 円切り上げ 16.88% 唄わたしの城下町、知床旅情 新語 ポルノ・トルシヨック ノーカー運動、 DISCOVER JAPAN</p>	<p>万国博覧会 光化学スモッグ・ヘド口問題表面化 三島由紀夫割腹自殺 唄 圭子の夢は夜ひらく 走れ!コウロ</p>	<p>東名高速道路全面開通・断絶の時代 アポロ月面着陸・情報化社会 唄 ジェルシー・横濱 唄 いじやないの幸せならは 新語 oh-morrett やったぜハイパー あつと驚くタメコロー</p>	<p>アポロ8号月周遊 東大紛争 チノ内乱 国民総生産 51兆600億円</p>	<p>経済審議会 初めて過疎問題報告</p>	<p>中国文化大革命 新東京国際空港 三里塚に閣議決定 唄 骨まで愛して、夢は夜ひらく 新語 黒い霧 ミニ世の中まがってる</p>	<p>ベトナム爆撃開始・日韓条約締結 唄 まつこの木子唄 柔 新語 根性・しごき・やったるで</p>	<p>新幹線開通 東京オリンピック 佐藤内閣発足 国民総生産 25兆6,881億円 唄 幸せな手をとろう 新語 ウルトロ</p>	<p>ケネディ米大統領暗殺 新語 流通革命 唄 こんには赤やちやん 男ならやごみな 高校三年生</p>	<p>一般社会</p>



# Ⅱ. 素材生産最盛期

Demand golden period

時代は高度成長期へ。木材需要は相変わらず旺盛で、素材生産と拡大造林が盛んに行われます。森林組合は林業構造改善事業を活用し、資機材と設備の強化を図り、力をつけました。

## 1973 → 1982

昭和48年～57年

1年に1重の年輪の積み重ねが、木材を作っていきます。森林組合は今も昔も、安全に伐倒し効率よく集材する方法を追求しています。

1982	1981	1980	1979	1978	1977	1976	1975	1974	1973	西暦(年)	
57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	昭和(年)	
<b>出資金</b> 2,070万4千円 <b>欠損金</b> 1,347万9千円 従業員数38名(職7・労31)	<b>天野房治</b> 退職 <b>出資金</b> 2,007万4千円 <b>草賀文雄</b> 専務退任 <b>大塚明忠</b> 参事となる	<b>緊急対策事業</b> 理事数14名から58名とする <b>出資金</b> 1,971万4千円 第一次林業構造改善追加事業 (55～56)11,200万円	<b>五月女靖雄</b> 職員採用 集会所施設完成 <b>出資金</b> 1,553万円 国道二号線沿いに緑化木センター フロインライン開設	<b>出資金</b> 1,522万円 大和田土場取得 従業員数40名(職8・労32)	<b>榑村組</b> 榑村組 掛川市長に初当選 (2005年まで7期28年) <b>榑村組</b> 榑村組 榑村組副会長に <b>出資金</b> 1,500万円	森林法改正に伴う定款変更 <b>出資金</b> 1,309万2千円 三期連続出資配当699,600円 労務班 34人 林構無線施設開設	原れん佐藤あじ子 採用 <b>出資金</b> 1,130万2千円 <b>出資配当</b> 505,127円 第二次林業構造改善事業 (50～53)22,400万円 (50～53)22,400万円 高道路網 大蔵省、林野省視察	<b>役員改選</b> <b>出資配当</b> 508,804円 2次林構計画策定 <b>出資金</b> (971万1千円) 1,017万6千円 ブルドーザーD50導入	森林組合10周年記念 3月決算を6月に変更	<b>掛川市森林組合</b> <b>総務</b>	
素材扱量(4902) 素材生産 4,083m <sup>3</sup> 苗木 126,000本 請負事業 6,533,000円	素材扱量(4780) 素材生産 3,942m <sup>3</sup> 苗木 131,000本 請負事業 14,722,000円	素材扱量(4,660) 素材生産 2,789m <sup>3</sup> 苗木 143,000本 請負事業 11,627,000円	素材扱量(5066) 素材生産 4,469m <sup>3</sup> 苗木 159,000本 請負事業 8,330,000円	素材生産 4,753m <sup>3</sup> 苗木 145,000本 足場丸太 800E 出資配当 5% 761,000円	素材生産 4,621m <sup>3</sup> 苗木 169,000本 川根町管内で買取生産開始	素材生産 4,709m <sup>3</sup> 苗木 170,000本 足場丸太 0 大尾山林道、ヤマメ養殖	素材生産 2,976m <sup>3</sup> 苗木 187,000本 足場丸太 3,080m <sup>3</sup> 労務班健康診断 雑誌「現代林業」取材	素材を生産 5,208m <sup>3</sup> 苗木 239,000本 足場丸太 5,402m <sup>3</sup> 高道路網進捗	素材を滋賀・岐阜・愛知・三重・奈良などに出荷 素材生産 5,208m <sup>3</sup> 苗木 239,000本 足場丸太 5,402m <sup>3</sup> 高道路網進捗	全国山村シンポジウム(佐久間) 森林法改正 県森連 決算期変更(48年) 丹波金谷林道開通 県森連 内山会長から鈴木副会長に 七夕豪雨 木材急騰 スギ中目石 @8,000↓@13,000	<b>森林・林業界</b>
台風18号 掛川市に大水害 全国林業退職金共済組合発足	林業関係5団体合併 県山林協会設立 榑村組 榑村組 榑村組副会長に 問伐促進総合対策事業 森林組合活動強化特別対策事業始まる 森林法第一次改正 県森連鈴木会長死去 岡本弘之会長へ	新林業構造改善事業発足 入立木石 10,000円 ヒノキ立木石 20,000円 史上最高値	掛川宮林署廃止 治山事業所設立 第30回中央植樹祭(桜が丘中学) 県森連木材共販50億円突破 組合長「山とむらの思想」出版	共販 岡部土場初開場 森林組合法単独立法成立	全国森林組合シンポジウム(天竜) 木材自給率33.6%	県 農地森林部新設 県民の森(丹川)調査	木材自給率35.9% 新生森林組合運動の推進 森林組合大会 於本川根 県森連木材共販 足場丸太滞貨で1,200万円赤字	国土庁発足 第一次オイルシユク、狂乱物価 列島改造後退 田中金脈問題失脚 豪雪 ベストセラー「日本沈没」	<b>一般社会</b>		
日航機羽田沖に墜落 24人死亡 500円硬貨発行 中曽根内閣成立 財政非常事態宣言	静岡地下街カス爆発 日本車の生産台数が世界一となる	衆参同日選挙 日本坂トンネル事故 173台炎上7人死亡 贈収賄汚職、公務員の不祥事続発 中国4人組裁判 インフレーション戦争	新東京国際空港(成田)開港 公定歩合 戦後最低の4.25% 掛川市 生涯学習都市宣言 掛川市 林業の盛んなユージン市と 姉妹都市に OPEC原油価格の引上げ決定 (第二次オイルシユク) 1バーレル 40\$	第三次全国総合開発計画 東遠モデル定住圏指定 新幹線掛川駅 設置構想 唄「勝手にしやがれ 津軽海峡冬景色 唄・北の宿から」	特別国債法案 三木内閣 発行額2兆1千億円 田高トル安 浜岡原発営業運転開始 唄・北の宿から	県民の翼 中国視察 総選挙12/5 新自由クラブ18人 ロッキード事件 田中角栄逮捕 唄「シクラメンのかほり」	国鉄ストライキ権行使 唄「襟裳岬」				

かけがわの森の記憶



# Ⅲ. 国産材需要縮減期

Demand Reduction period

安い外国産材と代替製品の影響で国産材の需要が減少した時代です。  
 森林組合では素材生産に代わる事業として、  
 県や市のまちづくり事業に伴う伐採・片付工事が増えていきます。  
 また、海岸林の松くい虫の被害が大きくなり、  
 松くい虫防除事業にも積極的に参画しました。  
 平成3年にはバブル経済が崩壊しました。

## 1983 → 1992

昭和58年～平成4年

チェーンソーやコンパスなど、  
 山仕事の機械・器具も、  
 時代とともに技術革新が進みました。

1992	1991	1990	1989	1988	1987	1986	1985	1984	1983	西暦(年)
4	3	2	平成元年	63	62	61	60	59	58	昭和(年)
<p>掛川市森林組合設立30周年                      グリーンライフ設立15周年                      役員改選                      榎村組合長 天竜流域林業活性化                      センター会長に</p>	<p>出資金 3,098万4千円                      従業員数26名(職5・労21)</p>	<p>大塚専務理事となる                      従業員数25名(職5・労20)                      掛川市森林組合に1千万円出資</p>	<p>平成と改元                      榎村組合長 市長4選                      役員改選                      従業員数26名(職6・労20)</p>	<p>リストプを行う                      職員の給与20%カット(半年間)                      佐藤あい子 退職                      従業員数25名(職7・労19)</p>	<p>林家の山ばなれ拡大                      欠損金 1,127万2千円</p>	<p>役員改選                      従業員数31名(職7・労24)</p>	<p>大和田土場の倉庫完成                      工業団地1区画1区着工</p>	<p>従業員数35名(職7・労28)</p>	<p>役員改選                      新林業構造改善事業                      (58～62)5,400万円</p>	<p>掛川市森林組合</p>
<p>素材扱量 2,000m<sup>3</sup>                      素材生産 800m<sup>3</sup>                      苗木 27,000本                      請負事業 6,176,200円                      新間伐 58ha                      中電静岡幹線工事始まる</p>	<p>素材扱量 1,970m<sup>3</sup>                      素材生産 1,182m<sup>3</sup>                      苗木 40,000本                      請負事業 40,883,000円                      新間伐 100ha</p>	<p>素材扱量 1,700m<sup>3</sup>                      素材生産 914m<sup>3</sup>                      苗木 50,400本                      請負事業 20,660,000円                      新間伐 88ha</p>	<p>素材扱量 2,050m<sup>3</sup>                      素材生産 1,541m<sup>3</sup>                      苗木 52,800本                      請負事業 20,537,000円                      新間伐 80ha                      工業団地造成始まる</p>	<p>素材扱量 2,000m<sup>3</sup>                      素材生産 1,454m<sup>3</sup>                      苗木 30,000本                      請負事業 29,144,000円                      新間伐 80ha</p>	<p>素材扱量 3,176m<sup>3</sup>                      素材生産 1,985m<sup>3</sup>                      苗木 60,000本                      請負事業 5,825,000円                      新間伐 35ha</p>	<p>素材扱量 4,100m<sup>3</sup>                      素材生産 2,961m<sup>3</sup>                      苗木 80,000本                      請負事業 11,192,000円                      新間伐 10ha</p>	<p>素材扱量 4,400m<sup>3</sup>                      素材生産 3,045m<sup>3</sup>                      苗木 118,000本                      請負事業 7,693,000円</p>	<p>素材扱量 4,362m<sup>3</sup>                      素材生産 2,857m<sup>3</sup>                      苗木 90,000本                      請負事業 10,002,000円                      労災死亡事故発生</p>	<p>素材扱量 4,624m<sup>3</sup>                      素材生産 3,686m<sup>3</sup>                      苗木 106,000本                      請負事業 11,709,000円                      宮林観音山160年生立木                      6,800万で落札</p>	<p>掛川市森林組合</p>
<p>掛川市森林果樹公園 開園                      台風19号九州及裏日本に大被害</p>	<p>森林法一部改正                      流域管理システム導入                      県森連 高性能機械実証テスト開始</p>	<p>全国自然環境復元シンポジウム                      (掛川市)</p>	<p>木材自給率24.6%                      木材取引税廃止</p>	<p>「緑と水の森林基金」を                      国土緑化推進機構に創設、                      5カ年で200億を目標</p>	<p>木材自給率30%                      森林組合法                      森林組合併助成法改正</p>	<p>県森連(天竜(管) 木材自動選別機導入                      全国森連会長会議 水源税創設を決議</p>	<p>木材自給率35.6%                      国際森林年</p>	<p>森林組合活動強化対策事業                      始まる</p>	<p>勸森とむらの会設立                      松くい虫被害拡大                      市有林20周年記念</p>	<p>森林・林業界</p>
<p>中国共産党 市場経済決定                      宮沢内閣成立</p>	<p>ソ連崩壊                      バブル経済の崩壊                      湾岸戦争終結                      イラク クウェートに侵攻                      緑茶シンポジウム2回</p>	<p>東西ドイツ統一 10月                      バブル経済絶頂期                      海部内閣成立                      花と緑の万国博(大阪)                      唄・おどろポンポロン                      掛川市まちづくり土地条例制定</p>	<p>昭和天皇崩御、平成に改元                      ベルリンの壁崩壊 11月                      消費税実施                      「みどりの日」制定                      宇野内閣成立</p>	<p>新幹線掛川駅開業                      青函トンネル 四国大橋開業                      日本列島連結                      国鉄分割民営化発足                      花とみどりのねむの木村着手</p>	<p>竹下政権成立                      狂乱地盤                      唄・命くれな                      Get Wild</p>	<p>衆参ダブル選挙 自民307議席                      第2いざなぎ景気                      チェルノブイリ原発事故                      二俣線第三セクター方式で存続                      1ドル1150円</p>	<p>新幹線掛川駅着工                      116億6000万円                      NIT、日本たばこ民営化                      寒波 酷暑、渇水、異常気象の年                      エイス流行 米国100万人</p>	<p>非行の低年齢化と                      中学校の校内暴力多発                      唄・もしも明日が                      長良川艶歌</p>	<p>掛川市生涯学習センター完成                      県下交通事故死者激増の異常事態                      上越新幹線一部営業開始                      大韓航空機事件                      おしんブーム                      つま恋でガス爆発死者14人重傷傷27人</p>	<p>一般社会</p>

かけがわの森の記憶

# IV. 公共事業最盛期

Public-works golden age

エコポリス工業団地の造成、市道・県道の新設と拡張、  
そして第2東名高速道路事業がピークを迎えます。  
森林組合は各事業の伐採・片付工事を積極的に請け負います。  
一方で、水土保全やCO2固定など  
森林の公益的機能の評価がしだいに高まって  
その関連事業がふえていった時期でした。

## 1993→2002

平成5年～14年



山を調査・測量し、施業を計画し、下草を刈り、  
森のことを伝える。  
これも森林組合の大切な仕事です。



2002	2001	2000	1999	1998	1997	1996	1995	1994	1993	西暦(年)
14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	平成(年)
<p>従業員数17名(職5・労12)</p>	<p>出資金 3,317万円 舟津希代美 採用 従業員数17名(職5・労12)</p>	<p>出資金 3,280万円</p>	<p>林業振興基金として 掛川市へ8,000万円を寄託 基金一億円となる 尾崎友昭 採用 従業員数19名(職4・労15)</p>	<p>組合長 林業功労で藍綬褒章受章 従業員数18名(職3・労15)</p>	<p>従業員数20名(職3・労17)</p>	<p>グリーンライフ閉店 従業員数21名(職4・労17) 掛川市へ2,000万円を寄託 林業振興基金創設</p>	<p>職ならしへ入出資400万円 役員改選</p>	<p>森の都なつこの里完成 出資金 3,098万4千円 従業員数25名(職5・労20)</p>	<p>活性化林業構造改善事業 (H5~7)3,600万円 従業員数23名(職5・労18) 榎村組合長 県森連会長に就任</p>	<p>掛川市森林組合</p>
<p>素材生産 500m<sup>3</sup> 苗木 11,600本 請負事業 1,064,844,588円</p>	<p>素材生産 600m<sup>3</sup> 苗木 10,400本 請負事業 1,375,683,367円</p>	<p>素材生産量減少 素材生産 845m<sup>3</sup> 苗木 24,200本 請負事業 9,256,889円</p>	<p>素材生産 347m<sup>3</sup> 苗木 12,000本 請負事業 2,907,338円</p>	<p>第一東名伐採工事ピーク 素材生産 1,658m<sup>3</sup> 苗木 5,900本 請負事業 1,865,2994円</p>	<p>第一東名伐採工事本格化 素材生産 1,749m<sup>3</sup> 苗木 21,000本 請負事業 5,054,171円</p>	<p>素材生産 1,022m<sup>3</sup> 苗木 3,600本 請負事業 7,680,660円 林道萩間黒俣線開通式</p>	<p>素材生産 1,238m<sup>3</sup> 苗木 29,300本 請負事業 8,183,663円</p>	<p>素材生産 1,258m<sup>3</sup> 苗木 45,000本 請負事業 5,615,653円</p>	<p>素材扱量(1,500t) 素材生産 1,445m<sup>3</sup> 苗木 5,900本 請負事業 37,442,000円 新聞伐 50ha</p>	<p>事業</p>
<p>3川根・藤枝・島田の5組合が合併 森林組合おひかわ となる</p>	<p>榎村組合長 国土審議会委員に 林業基本法が、森林林業基本法に 改訂される 森林の公益的機能の評価高まる 石川嘉延県知事3選</p>	<p>森林から発生する枝葉 「産業廃棄物」に</p>	<p>大井川長島ダム工事 第50回全国植樹祭 天城高原で開催される 榎村組合長「これからは森林のこと を頑張ってください。」天皇陛下より お言葉を賜る</p>	<p>林業不振顕著 県森連赤字 初市の原木価格空前の値下がり</p>	<p>木材自給率19.6% 石川嘉延県知事2選</p>	<p>組合長 林業会議所会頭に 台風17号 富士山 山林大被害 林野庁 林野三法を国会へ提出</p>	<p>木材自給率20.5%</p>	<p>掛川城天守閣復元 40万人入場</p>	<p>スギ立木 2,300円 ヒノキ立木 7,800円 石川嘉延 県知事に</p>	<p>森林・林業界</p>
<p>サンカウ杯 日韓共同開催 北朝鮮から拉致被害者6名 24年ぶり帰国 タケちゃん 唄・おさかな天国</p>	<p>米大統領 プッシュが当選 小泉純一郎内閣成立 「ユーロ」同時多発テロ事件 千と千尋の神隠し</p>	<p>ロシア大統領選挙 プーチン首相当選 森喜朗内閣成立 2,000円札発行 唄「SUNAMI」 桜坂</p>	<p>ユーロ始動、国旗、国歌法成立 日産が大幅リストラ策 国内5工場を閉鎖 ロシア、エリツィン大統領辞任、 プーチン首相が代行</p>	<p>金融ビッグバン・小淵内閣成立 和歌山毒入りカレー事件 円安 1ドル147円台へ 長野冬季オリンピック スーパードルで消費税分還元セル盛況 タイタック・Windows 98 唄・夜空ノムコ 全国茶サミット発足</p>	<p>消費税5%スタート 香港返還 神戸児童連続殺傷事件 一宮尊徳サミット 32市22町村 踊る大捜査線、ものけ姫 たまごっち</p>	<p>小選挙区制 橋本内閣成立 民主党結成 アトラントアオリンピック 白線流し・エラマックス 唄・ガッツだぜ!!</p>	<p>阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件・Windows 95 円高騰 1ドル179.75円 住専処理に6,800億円投入を 閣議決定 唄・碧い川さぎ</p>	<p>リレハンメル冬季オリンピック 関西国際空港開港 細川→羽田→村山 連立内閣 家なき子・フレンド米 唄・愛が生まれた日 ねむの木村 起工式</p>	<p>皇太子ご成婚 Jリーグ開幕 1ドル1105円 衆議院解散 7/18総選挙 非自民の細川連立内閣成立</p>	<p>一般社会</p>

かけがわの森の記憶

# V. 新機軸拡大期

New device Expansion phase

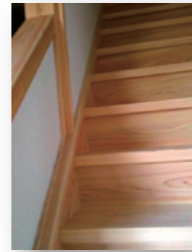
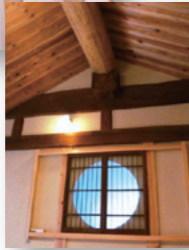
職員・労務班の世代交代が大きく進みます。  
また、林業機械・測量機械の改良、業務のIT化が進み、  
森林組合の仕事の仕組みが大きく変わっていきます。  
森林の公益的機能の評価から、手入れの遅れた山の間伐や、  
山林境界の保全が公共事業として行われるようになります。

## 2003→2012

平成15年～24年



「衣食住の三つは田島山林にあり」(報徳訓)  
森から暮らしへ  
樹は木となり私たちの暮らしを支えてくれます。



2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	西暦(年)
24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	平成(年)
<p>森林経営計画制度始まる 山田紘也 採用 従業員数12名(職7・労5)</p>	<p>従業員数12名(職7・労5)</p>	<p>ホームページ 林野庁長官賞 受賞 吉野恵三 退職 齋藤皓次朗 採用</p>	<p>原田地区奥地保安林整備事業 はじまる 天野幸雄 退職</p>	<p>測量業者登録 ホームページ 「かけがわの森から」開設 従業員数14名(職7・労7)</p>	<p>榛村組合長 旭日中綬章 受賞 舟津希代美 退職 角皆藍子 採用 従業員数14名(職7・労7)</p>	<p>広報紙「かけがわの森から」発刊 長嶋勝樹 採用 従業員数14名(職7・労7)</p>	<p>デジタルコンパス GPS測量機導入 森林GIS整備 原れん 退職 落合直子 採用</p>	<p>出資金 3,446万4千円 今橋真人、吉野恵三 採用 従業員数15名(職6・労9)</p>	<p>原泉地区水源総合整備事業 はじまる 天野幸雄 嘱託採用 中山忠一 退職</p>	<p>掛川市森林組合</p>
<p>境界保全事業終了 地籍調査事業へ 素材生産 1,355.5m<sup>3</sup> 苗木 4,283本 請負事業 75,443,665円 間伐 118,167ha</p>	<p>新病院造成工事 素材生産 3,075m<sup>3</sup> 苗木 5,505本 請負事業 134,104,977円 間伐 139,337ha</p>	<p>新工コポリス第2期工事 素材生産 899m<sup>3</sup> 苗木 9,604本 請負事業 149,411,000円 間伐 159,257ha</p>	<p>素材生産 1,097m<sup>3</sup> 苗木 11,775本 請負事業 95,031,497円 間伐 190,977ha</p>	<p>境界保全事業・森の力再生事業・ 治山(本数調整伐)事業が3本柱に 素材生産 699m<sup>3</sup> 苗木 11,270本 請負事業 88,359,970円 間伐 135,577ha</p>	<p>素材生産 5,093m<sup>3</sup> 苗木 6,745本 請負事業 75,914,981円 間伐 100,337ha</p>	<p>森の力再生事業はじまる 素材生産 494m<sup>3</sup> 苗木 7,172本 請負事業 94,807,637円 間伐 91,157ha</p>	<p>国交省直轄 山村境界保全事業 黒保地区312ha 素材生産 460m<sup>3</sup> 苗木 19,893本 請負事業 100,043,840円 間伐 91,517ha</p>	<p>素材生産 2,099m<sup>3</sup> 苗木 10,893本 請負事業 126,202,889円 間伐 77,847ha</p>	<p>新工コポリス造成工事 素材生産 413m<sup>3</sup> 苗木 13,865本 請負事業 205,065,441円 間伐 13,822ha</p>	<p>総務</p>
<p>全国育樹祭 天城とエゴバで開催 国産材自給率50%を目指した 「森林・林業再生プラン」始動 静岡県では素材生産量 目標 平成25年度に45万m<sup>3</sup> アベノミクス 3本の矢</p>	<p>木材自給率26.6% 9月台風15号 管内森林に大きな被害</p>	<p>公共建築物木材利用促進法制定 富士森林再生プロジェクト 間伐促進事業</p>	<p>木材自給率27.8%</p>	<p>CO2吸収源としての森林の評価 さらに高まる</p>	<p>改正建築基準法施行 「二〇〇年住宅」</p>	<p>静岡県 森林づくり県民税による 「森の力再生事業」始まる 県森連静岡(管)に 乾燥木材加工センター設立</p>	<p>木材自給率20% 石川嘉延知事4選</p>	<p>国土交通省 山村境界保全事業設計</p>	<p>「なつこ」温泉館が開業 森林のCO2固定機能への 評価高まる 長島ダム完成</p>	<p>森林・林業界</p>
<p>東京スカイツリー開業 国内の全原発停止 政府が尖閣諸島国有化 山中教授、iPS細胞開発で ノーベル医学賞 衆議院総選挙自民党圧勝 安倍内閣(ロンドンオリンピック)</p>	<p>東日本大震災 大相撲春場所八百長問題で開催中止 サッカーなどで「ジャパン」W杯世界一 テレビ放送が地デジに移行 野田佳彦内閣</p>	<p>菅直人内閣成立 尖閣諸島で巡視船、中国漁船衝突 日本人ノーベル化学賞2名 AKB48</p>	<p>米GM経営破綻 衆院選、民主党政権奪取 鳩山由紀夫内閣 1004</p>	<p>中国製餃子中毒事件 中国四川大地震、 原油史上最高値1バレル147.27ドル 北京オリンピック、麻生太郎内閣、 リーマンブラザーズ破綻 日本人ノーベル物理学賞3名、 ノーベル化学賞1名 株価暴落、田高・米大統領オバマ当選</p>	<p>社会保険庁、 過去の基礎年金記録に不備 参院選、民主党政権となる 全国的に記録的猛暑日が続く 福田康夫内閣、10.1 郵政民営化 唄・千の風になら</p>	<p>ライブドア事件、ジャワ島大地震、 大津波、トリノ冬季オリンピック、 荒川静香がメダリスト サッカーW杯、ドイツ開催、ハチカチ子 暖冬、セイロン大統領死刑執行 大河ドラマ「功名が辻」</p>	<p>愛知万博開催 全国記録的大雪 JR福知山線脱線事故 原油高騰 郵政民営化法案可決・クールビズ 耐震強度偽装問題 掛川市 大東町・大須賀町 一市一町合併 新掛川市へ</p>	<p>陸上自衛隊がイラクのサマワに進駐 アブネ五輪 日本は史上タイ 金メダル16個 新潟中越地震・マントラ沖地震 世界の中心で愛を叫ぶ 唄・マッケンサンバ 掛川市制50周年・大井川用水50周年</p>	<p>米英軍がイラク攻撃を開始 日本郵政公社発足 オレオレ詐欺 新型肺炎SARS 唄・世界に1つだけの花</p>	<p>一般社会</p>

かけがわの森の記憶



～現役職員より～



森林施業係 **鷺巣皓次郎**

森林組合設立50周年という記念すべき年に、新組合長が就任されました。今まで築き上げられてきた基盤の上に、新しい風を取り入れながら、新組合長のもと、「林学」「林業機械オペラ」「コスト管理・営業力」を兼ね備えた三能職員を目指します。そして森林組合の更なる発展に貢献していきたいと思ひます。



総務主任 **尾崎友昭**

山の文化・木の文化は、自然と共に生きる文化だと思ひます。「かけがわの森」の価値を高めることが、地域の皆様や組合員の笑顔につながるよう、また、山で働く人達のやりがいにつながるよう、これからも頑張りたいと思ひます。チームワークを大切に、新組合長を支えます。



森林施業係 **山田紘也**

設立50周年、節目の時、変化の時です。世代交代も進んでいます。私も若き力として、組合に貢献していけるよう日々技術を磨いています。数少ない地元出身者として、「原田に山田あり」と言われ、地域の方の声も聞ける技術者になれるよう、これからも精進していきたいと思ひます。



森林計画主任 **今橋真人**

設立50周年記念おめでとうございます。歴代の職員、作業員の方々の努力があって今日があります。この節目の年に組織体制が大きく変わりましたが、これからさらに飛躍を遂げられるよう新体制を支え、100周年に向けて仕事をしたいと思ひます。

50年後は、地籍調査はもう終わりましたか？



森林計画係 **須藤 翠**

掛川市森林組合設立50年という節目に就職しました。日々先輩の元でピンバシと鍛えられています。まだまだ至らない点が多いですが、早く先輩方に追い付けるよう日々精進しています。森林計画係として、皆様により良い森林計画を提供できるよう、頑張っています。



経理主任 **落合直子**

『継続は力なり』設立50周年の大きな節目に関わることができたことに感謝致します。これからの50年にむけて、先人の方々が積み重ねてきた大切なものを守り、また、新しき良きものを取り入れながら、組合に無くてはならない職員になれるように、日々精進して参ります。



森林施業係 **本目知之**

50周年という記念すべき年に就職しました。林業の仕事に従事して約7ヶ月。不慣れな部分が多々あり、日々勉強の毎日です。木の伐倒や造材、搬出作業を安全かつ確に出来るよう、頑張りたいと思ひます。そして自然の恵みをいただきながら、山や緑を守ることに貢献したいと思ひます。



森林施業主任 **長嶋勝樹**

拡大造林で植林された木が伐期を迎えている今、想いを託された木の行方が予期せぬ方へ向かいつつある気がします。さまざまな時代の流れはありますが、進むべき道標をしっかりと定め、将来木の有り方を導いていくことが、今後重要となっていきます。次の世代に向け、価値のある山を残せるように、山造りを進めていきたいと思ひます。



現場スタッフ

**中山武雄**  
**岩佐安澄**  
**原 重利**  
**天野信夫**

50周年おめでとうございます。山仕事は大変な作業ではありますが、気持ちの良い作業でもあります。先人たちの技術を引き継ぎながら、新しい機械や施工方法に対応し、これからも安全・確実な作業を心がけていきます！



経理係 **角皆藍子**

掛川市森林組合の、これからの50年を創っていく職員として、どんなことでも早く、丁寧に、正確に仕事ができるよう心掛けていきたいです。また、林業の現場では多くの危険が伴いますので、現場の皆さんが安全に作業できるように、『生涯無事故』をサポートしていきたいです。

平成25年8月改選の新役員 次の50年へスタート



(写真 前列左より)

理 事 染 葉 保 雄  
理 事 中 山 高 志  
代表理事組合長 榛 村 航 一  
理 事 戸 塚 喜 重  
理 事 鈴 木 卓 雄

(写真 後列左より)

理 事 榛 村 保 教  
理 事 草 賀 倫 教  
理 事 大 嶽 一 成  
代 表 監 事 桑 原 成 光  
監 事 柴 田 貞 雄  
監 事 杉 本 保 孝



新代表理事組合長 **榛村航一**

今年度、掛川市森林組合は満50歳を迎えました。一方私が生まれたのは森林組合が設立されて4年後の昭和42年です。今回、御縁あって9月より組合長に就任いたしました。私は日本の大学の林学科を卒業後、アメリカに留学して都市計画と公共政策を学びました。帰国後は外資系企業と県内自動車関連企業へ勤務し、ずっと企業戦士として過ごしてきました。これらの民間企業で鍛えられた国際感覚と経営感覚で、新しい息吹を森林組合に興していきたいと思ひます。

先人たちが育ててきた掛川市北部の森林は、近年の間伐作業により、さらに資源として充実しつつあります。次なる50年は、この森林資源・水資源を活かし、新たな循環を生み出していくこと。

22世紀を見つめて。



## 編集後記

森林組合50周年を記念してあゆみを  
発刊させていただきました。この冊子  
が、今まで森林組合に関わりを持たれた  
方々にとって、当時の苦楽を思い出す  
きっかけとなり、また、これから山や森林  
組合に関わっていく方々にとって、その歴史  
を知る上での一助となれば幸いです。

編集をしながら改めて感じたことは、  
掛川の森林は、自然の力と、山を愛する  
人たちの手によって長い時間をかけて  
作られたものだということです。(表紙・  
裏表紙の水玉模様は、空から見た50年  
の森の成長過程を表現しています。)50  
年の歴史を踏まえ、この森林を次の世代  
に引き継いでいくことが、これからの私  
たちの使命です。今後の森林組合にご期  
待いただければと思います。

50年間で指導を賜りました皆様に感謝  
を申し上げますと共に、今後も変わら  
ぬご指導をいただきますようお願い  
申し上げます。

最後に、この冊子の作成にあたって取  
材にご協力いただいた皆様と、編集にご  
尽力いただいた、スタジオやまもりの鈴  
木渉氏に感謝を申し上げます。

掛川市森林組合 総務主任 尾崎友昭

発行日 平成25年12月  
発行 掛川市森林組合  
静岡県掛川市丹間48番地  
TEL.0537-25-2111  
<http://kakemori.seesaa.net/>

日本人の原点には貴重な森の恵みと

誇れる豊かな木の文化があります。

森と人と木の深いつながりは、

いにしえの時代から途切れることなく続いてきました。

豊かなお米、お茶、お魚などの食物生産、

豊かな生活文化を育んできたのは、森でした。

我々は“森の番人”として

掛川の森を愛しみ、育み、守り、活かし、

次世代へつなげていきます。

そして地域に愛され必要とされる

掛川市森林組合に成長していきます。

